

取締役会議長メッセージ



世界中の患者さんに
価値を創出し、
持続的な成長を
実現してまいります

岩崎 真人

社外取締役
(取締役会議長／指名委員会委員長)

取締役会議長就任にあたって

これまでオリンパスの社外取締役として従事してきたこと、また、2025年6月には取締役会議長に就任したことを大変光栄に思っています。ヘルスケア業界は変化のスピードが非常に速い業界ですが、オリンパスが患者さんの安全を最優先とし、世界をリードするメドテックカンパニーとなるためには、環境変化を先取りし、当社のガバナンスやマネジメントの在り方を常に進化させていく必要があります。当社は、指名委員会等設置会社に移行し、その他の先進的な取り組みを行うことによって、コーポレートガバナンスの強化と高い透明性を備えたガバナンス体制の構築を進めています。また、当社では、取締役会が実効的に機能するために必要と考えるスキルを示したスキルマトリックスに基づき、多様な経験、バックグラウンドと視点を備えた取締役が選任されています。当社は、日本発のグローバル企業にとってのコーポレートガバナンスのベストプラクティスを確立することができる立場にあり、そのような強固なガバナンス体制は、当事業のさらなる発展に資すると考えています。このような企業において取締役会議長を務めることになり、身の引き締まる思いとともに、大きな責任を感じています。

2025年3月期を振り返って

2025年3月期は、能登半島地震に端を発したサプライチェーンの混乱、中国における厳しい事業環境、そして元CEOの辞任などさまざまな課題に直面しました。中でも元CEOの辞任は予期せぬ出来事ではありましたが、指名委員会ではアドバイザー サーチ コミッティー (ASC) を設置し、当社のCEOとして最もふさわしい人材の選定に全力で取り組みました。そ

の結果、2025年6月には、ヘルスケア業界での豊富な経験を持つボブ・ホワイト氏が新たにCEOに就任し、経営をリードしています。このプロセスを通じて、取締役間で活発に議論が行われ、取締役会としての結束力も一層高まったと実感しています。また、当社が推進する品質保証・法規制対応のプロジェクト「Elevate」の取り組みも進展し、患者さんの安全と品質を重視する企業文化が着実に根付きつつあります。

オリンパスが中長期的に目指す姿

オリンパスがイノベーションにより世界中の患者さんに対する価値を創出し、持続的な成長を実現することが最も重要だと考えています。当社のイノベーション創出力については、高いポテンシャルがあると見ていますが、変化の激しいヘルスケア業界においては、患者さんの安全を最優先するとともに、社内のイノベーション強化に加え、戦略的なM&Aも不可欠であると認識しています。こうした中、当社は2025年4月に新たな任意の委員会として、イノベーション&セーフティ (I&S) 委員会を設置しました。この委員会は、従来の品質保証および法規制 (QA&RA) 委員会の役割も引き継いでおり、イノベーションと品質安全という表裏一体の活動を一元的に監督、助言していくことは理にかなっていると考えています。

今後も執行と緊密に連携しながら、監督機能を一層強化し、適切な助言を行うことで、当社の持続的な成長と企業価値の向上に貢献してまいります。